



号外

埼玉県(第1区版)
平成25年9月9日発行

民主党プレス民主編集部
東京都千代田区永田町1-11-1
TEL 03-3595-9988 (代表)
民主党埼玉県連広報局
さいたま市浦和区高砂3-6-16
TEL 048-833-3500 FAX 048-833-3503
URL <http://minshu.org> E-mail info@minshu.org

衆議院議員 たけまさ公一 国会レポート 第156号

ニュースピックアップ

2013/09/07 ガレキ撤去ボランティアへ

民主党の仲間とともに、越谷船渡地区のガレキ撤去のボランティアに参加



2013/09/08 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定！

ブエノスアイレスでのIOC(国際オリンピック委員会)総会にて、2020年のオリンピックが東京で開催されることが、決定しました。

武正議員は、2008年の北京オリンピックでは超党派のスポーツ議連の一員として開会式に参加し、2016年の東京五輪招致活動のときから取り組んできました。

7年後の開催成功に向け、これからも尽力してまいります。

weblog アメブロ <http://ameblo.jp/takemasa-koichi/>
web site ウェブサイト <http://takemasa-k.jp/>
twitter ツイッター @takemasakoichi
facebook www.facebook.com/takemasatoday

党改革に向け方向性を確認 8月22日、9月4日

8月22日、全国幹事長・選挙責任者会議を党本部で開催しました。党改革の方向性として、

- ①2月24日の党大会で採択された「党改革創生本部第1次報告」のなかの第1次提言の着実に実行する。
- ②今後焦点となる政策課題(社会保障と税の一体改革、TPP、エネルギー、集団的自衛権など)については、10月中旬に予定される臨時国会と来年初頭の通常国会までの2段階で党内の徹底した議論を通じて考え方を明確にする。
- ③外部有識者も交えた「暮らしを守る研究会」(仮)を設置し、民主党の経済政策を早急に練り上げる。
- ④2015年春の統一地方選を「党勢回復に向けた今後の最大の決戦」と位置づけ、2014年度定期大会を目途に選挙方針を確立し、地方組織の立て直しを図る。

など7項目について了承を得て、9月4日に両院議員懇談会(総会)で本部の新体制を発足させました。武正議員も役員は交代し、一議員として党改革を支えていきます。

過去最大規模の来年度予算概算要求 8月29日

民主党政権時代に、各省とも、公共事業などを中心に予算を削減してきましたが、自民党政権に代わり、族議員・旧来型予算が復活し、予算の分捕り合戦となっています。

2014年度予算、各省庁の概算要求総額が、一般会計で過去最大規模の99兆2,000億円に膨れています。日本経済の再生には、財政再建も大きな課題であることを認識しなければなりません。

「財政規律を失った」と市場に判断されれば、金利高騰という事態に陥る可能性が高くなります。

昨年、与党として民主党が、野党、自民・公明両党と合意した折には、消費税増額収入を全て社会保障費に充てる案であったはずが、今では国土強靱化政策等で各省が増額要求しています。おまけに、公務員人件費を復興財源に充てる7.8%削減が来年4月から元に戻るという中身です。

国会議員の歳費削減継続、議員定数削減を含め、取組みの手を緩めてはなりません。

9月5、6日のG20サンクトペテルブルクサミットでも日本政府が公約として発表した財政再建策は極めて甘い内容になっています。

今回のサミットの議題は、シリア関連中心であったとしても、許されるものではありません。これからの国会の場でしっかりと正していきます。

埼玉・千葉に大型竜巻発生 9月2日～7日



2日午後2時すぎ、埼玉県越谷市、千葉県野田市などで竜巻が発生しました。気象庁によると「スーパーセル」という巨大な積乱雲が発生し、約900棟以上損壊し、多数が重軽傷を負いました。

発生場所はさいたま市岩槻区、緑

区ともいわれていますが、今後ヒートアイランド現象で頻繁に竜巻が発生する恐れもあり、首都圏、ないし国でも十分対応しなければなりません。

民主党本部、埼玉県連ともに対策本部を立ち上げ、竜巻発生の日3日、午前10時に現地へ武正議員も含め被害対策本部議員で視察に向いました。

党豪雨・竜巻災害対策本部第1回会議



現地調査報告を受け、関係省庁からヒアリング

その翌日4日には党本部の対策本部を開き、千葉とともに埼玉からも本部に報告し、中央省庁に要望を伝えました。

また、7日には、ボランティアとして、武正議員、地方議員他ボランティアメンバーが、越谷市船渡地区においてガレキ撤去等の活動を行いました。

被災者生活再建支援法は全壊10棟以上の被災自治体が対象ですが、10棟以下の地域を対象にとの要望

等を今後政府への働きかけを行なっています。

たけまさ公一後援会主催 第19回武正杯ゴルフコンペ 2013年10月28日(月) 大宮国際カントリークラブ

参加費5,000円 詳細は武正事務所まで

第132回 たけまさ公一と語る会 2013年9月29日(日)午後2時 埼玉会館3B

テーマ **消費税引き上げ**

事前のお申し込みは必要ありません。お気軽にご参加ください。

岩槻・浦和・緑・見沼区で、たけまさ公一とともに より良い地域を実現します
民主党埼玉県第1区地方議員並びに県政・市政担当者

浅野目 義英



県議・浦和区
昭和33年生まれ
民主党・無所属の会幹事
長／議会運営委員／次
世代人材育成・文化・スポ
ーツ振興特別委員会

井上 将勝



県議・見沼区
昭和54年生まれ
民主党・無所属の会／福
祉保健医療委員会／次
世代人材育成・文化・スポ
ーツ振興特別委員会

神崎 功



市議・緑区
昭和30年生まれ
さいたま市議会副議長、民主
党さいたま市議団顧問／民主
党埼玉県連副代表／総合政
策委員会／予算委員会

高野 秀樹



市議・岩槻区
昭和35年生まれ
民主党さいたま市議団
長／議運委員会
地下鉄7号線延伸事業化
委員会副委員長

三神 尊志



市議・見沼区
昭和55年生まれ
民主党さいたま市議団
市民生活委員会委員長
／地下7号線延伸委員会／予
算委員会委員

小柳 嘉文



市議・浦和区
昭和40年生まれ
民主党さいたま市議団
見沼田圃将来ビジョン委員
会／市民生活委員会／決算
行政委員会

武田 和浩



市議・見沼区
昭和36年生まれ
民主党さいたま市議団
まちづくり委副委員長見
沼田圃将来委員

松岡 耕一



緑区・県政担当
昭和51年生まれ
民主党埼玉県第1区総
支部幹事

石田 昌生



緑区・市政担当
昭和35年生まれ
民主党埼玉県第1区総
支部幹事

たけまさ公一プロフィール……………昭和36年(1961年)生まれ
…さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高校、慶応義塾大学法学部政治学科卒業
……………平成元年、松下政経塾卒業 平成11年4月、埼玉県議会議員2期目当選
……………平成24年12月16日、衆議院議員5期目当選

【内 閣】前財務副大臣／元外務副大臣

【衆議院】財務金融委員会委員／憲法審査会会長代理／青少年問題特別委員会委員

【民主党本部】税制調査会副会長 【民主党埼玉県連】代表代行

たけまさ公一事務所

●浦和事務所 さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2階 TEL 048-832-3810 FAX 048-832-3846
●岩槻事務所 さいたま市岩槻区本町5-5-12 TEL 048-749-6801 FAX 048-749-6802
●国会事務所 千代田区永田町2-1-2第2議員会館312 TEL 03-3508-7062 FAX 03-3519-7715
皆様のご意見・ご要望をお待ちしております メールアドレス voice@takemasa-k.jp